

平成 21 年

総務教育常任委員会会議録

平成 21 年 2 月 20 日

福島町議会

会議録の作成にあたっては、誤りのないよう留意しておりますが、時間の関係上原稿校正は初校しかできなく、誤字、脱字がありますことを深くお詫び申し上げます。

まことに恐れ入りますが、ご了承のうえご判読いただきたくお願いいたします。

福島町議会議長 溝 部 幸 基

平成21年

総務教育常任委員会

平成21年2月20日（金曜日）

◎調査事件

- (1)調査事件2 庁内LANサーバー及びパソコン等の更新について
(2)調査事件3 その他所管に関する事項について
(教育コンピュータ整備事業について)

◎出席委員（6名）

委員長	平野隆雄	副委員長	滝川明子
委員	佐藤卓也	委員	加藤雅行
委員	藤山大	委員	溝部幸基

◎欠席委員（0名）

◎委員外議員（1名）

議員 木村 隆

◎出席説明員

・調査事件(2)

町長	村田 駿	副町長	竹下泰弘
総務課長	川岸 勤	総務課企画グループ参事	土門修一
総務課企画グループ総括主査	前田勝広	総務課企画グループ主査	住吉英之

・調査事件(3)

町長	村田 駿	副町長	竹下泰弘
教育長	丁子谷雅男	教育委員会教育次長	木村 修
教育委員会学校教育グループ総括主査	飯田富雄		

◎職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長	石堂一志	議会グループ総括主査	坂口 稔
--------	------	------------	------

(開会 午後 1時00分)

○**委員長（平野隆雄）** 定刻になりましたので、ただいまから、総務教育常任委員会を開会いたします。

直ちに、本日の会議を開きます。

本日の調査事件は、皆様のお手元に配付のとおりでございますので、ご了承願います。

案件の調査に入る前に、申し出により、村田町長のあいさつを行います。

村田町長。

○**町長（村田駿）** 委員の皆様には、ご苦勞様でございます。

何かとお忙しい中、常任委員会のご出席、本当にご苦勞様でございます。

本日の調査事件2の庁内LANサーバー及びパソコン等の更新についてでございますが、さきの1月15日の委員会に引き続き、本日は2回目のご審議をいただくこととなります。

平成13年以降に導入されてきたLANサーバー等の機器及び職員用のパソコンが耐用年数の経過と基本ソフトのメーカーのサポートが終了していることから、これらの機器を更新しようとするものであります。

前回の常任委員会での議論を踏まえて、特に職員用のパソコンの更新につきましては、ノート型からデスクトップ型に変更することや、職員間で共有することで、更新台数を少なくすることなどについて、職員間での意見交換を行い、費用を精査した中で、再度見積もりを徴してございます。

また、調査事件3、その他所管に関する事項の中学校教育用コンピュータ整備事業については、導入から8年を経過しており、故障や不具合も多くなっている状況に鑑み、周辺機器と合わせて更新しようとするものでございます。

特に、社会的にパソコンの普及が拡大し、学習の中でもインターネットの活用などが進む中で、今後の生徒数の推移や学校統合を視野に設置台数についても考慮して、整備を図ってまいりたいと考えております。

このあと、それぞれ担当より説明させますので、よろしくお願いを申し上げ、私のあいさつといたします。

どうぞ、よろしくお願いをいたします。

○**委員長（平野隆雄）** 村田町長のあいさつが終わりました。

これより、調査事件に入りますが、まず最初に調査の方法について説明をいたします。

本日は2件の調査事件がありますので、1つの事件ごとに、説明員から資料の説明をいただき、次に、現状の把握を主体とした質疑を行います。

2件の調査事件の説明及び質疑が終了後、1つの事件ごとに、順次、問題点やその対応策などを委員間で意見交換や討議をしていただきます。

その後、最終的な委員会意見のまとめをし、議長に提出することとなります。

以上、調査の方法を説明しましたが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」という声あり)

○**委員長（平野隆雄）** ご異議なしと認め、そのように進めてまいります。

これより、調査事件2に入りますが、あらかじめ調査内容について、簡単にご説明申し上げます。

平成13年に始まった、庁内等のネットワーク化は、平成15年の地域インターネット導入促進整備事業等により整備されこれまで運用されてきております。

このたび5年の耐用年数となることから、機能保持のため、平成21年度にネットワーク機器等を含めた更新を予定しているところです。

このことから、前回の調査では、庁内LANサーバー等の導入経緯や更新の内容、事業費等の資料説明及び質疑等があり、さらに継続調査となつてのものであります。

本日は、前回の質疑等を踏まえた資料も示されておりますので、これらの内容を調査し、所管事務の一端にいたしたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

それでは、調査事件2、庁内LANサーバー及びパソコン等の更新についてを議題といたします。

内容の説明を求めます。

土門企画グループ参事。

○企画グループ参事（土門修一） 資料の1ページをお願いいたします。

調査事件2、庁内LANサーバー及びパソコン等の更新についてご説明申し上げます。

まず、1の今回提案する内容についてでございます。

1月15日開催されました、前回委員会の審議結果を踏まえ、庁舎内で検討を行い、業者から新たに見積書を徴し事業費を精査しています。

その際の検討事項といたしまして、①ノート型からデスクトップ型への変更、②パソコンの性能、それから1台当たりの単価について検討しています。

それから、③パソコンの共有については、1月30日にIT推進本部会議を開催し、協議してございます。

2の庁舎内の検討結果についてでございます。

1月30日にIT推進本部会議を開催しまして、上記1の検討事項について協議した結果です。

(1) ノート型からデスクトップ型への変更についてですが、平成13年に51台の業務用パソコンの導入以前は、事務機器の中心はワープロと電卓で、パソコンは補助事業で導入した数台と基幹業務端末が各課に1台設置されてございました。

平成13年に51台のパソコンが導入される際に、庁舎内の美観と携行できるという利便性に着目してノート型が選定されてございます。

その後、平成15年の「個人情報保護に関する法律」の施行により、国では厳格なセキュリティポリシーを定めており、個人情報に万全を期しているところでもあります。

現在の使用しているノートパソコンは、デスクトップ型と比べて、年数の経過とともに、故障や不具合が多く、電算を担当するものとしての負担も大きくなってきているところでございます。

これらの状況から、当町でも個人情報等の漏えい・流失防止対策に万全を期すためパソコンの持ち出しが容易にできないようにすること、今後の

更新に際しては、故障の少ないデスクトップ型に段階的に更新を進めていくことといたしております。

(2) パソコンの性能の分でございます。

1台当たりの単価についても、そこで検討しております。前回の資料でお示ししました業務用パソコンの基本性能は、メモリー1GB以上、ハードディスク80GB以上、ソフトはワードエクセルほか、パワーポイントが使用可能なものとしてご説明しているところでございます。

しかし、IT推進本部会議に出席の職員からは、基本ソフトとなるOS、vistaを駆動するために、現在より多くのメモリー容量が必要となることから、パソコンの動作環境を確保するためには、メモリーを2GBに増やし、動作環境がより改善されること。

また、1台当たりの単価を下げた事業費を安価にするためには、ソフトの中からパワーポイントを削ることといたしております。

次のページをお願いいたします。

(3) パソコンの共有についてでございます。

各グループの状況を聞きながら、パソコンの共有について協議をいたしております。

現在、パソコンが共有されているのは、税務グループが6人で2台、福島保育所が4人で3台、吉岡幼稚園が2人で1台となっております。

ほとんどの職員は、出勤時から退庁までパソコンで関係機関からの電子メールの確認から、各種資料の作成、データ管理・保存処理等を行っているところです。外勤等が多い職員であってもパソコンを共有することでの費用節減以上に、業務処理の効率が優先されるべきでありとの意見に協議の中でまとまっています。

ただし、使用頻度を考慮して、福島保育所を3台から1台に、吉岡支所を3台から2台に減らし、全体計画を47台から44台にすることとしております。

次に、3の事業費の精査についてでございます。

前回委員会での審議及びたぐい説明しました庁舎内でのIT推進本部会議での協議結果を踏ま

え、再度、更新事業の見積書を徴し、事業費の精査を行っています。

全体事業費について、資料3ページ(2)に前回提示事業費と精査後の事業費の比較で示しているように、178万9,000円の減額となっております。

(1) 精査後の事業費等について、品名ごとの事業費を資料2ページの下から3ページにかけて税込みの額で示してございます。

以下、品名と金額を読み上げて説明したいと思います。

まず、業務用パソコンでございますが、前は単価を15万円としていましたけれども、ソフトを削ることによって単価を12万4,000円としまして、台数も3台減の44台としております。金額は、545万6,000円でございます。

その下のファイルサーバーでございますが、1台91万6,000円、グループウェアサーバー1台63万円、メール&ドメインサーバー1台64万9,000円、情報サーバー1台63万円、それから、LWAN接続機能提供サーバー1台64万9,000円、無停電電源装置1台34万9,000円の3台で104万9,000円、停電時のバックアップ時間を9分以上としてございます。それから、これらの機器を納めるためのラックが1台68万5,000円、不測時のデータバックアップ用として、データ退避装置1台14万9,000円です。

これらの機器の小計で、535万5,000円となっております。

次に、共通経費等について、3ページでございます。

クライアントライセンス一式47万8,000円でございます。これは、対象数、使うパソコンの対象数を100台までとしてございます。100台までとして、使用許諾の契約をしていくところです。

それから、グループウェア一式35万6,000円でございます。会社等で書き込みやスケジュール管理等を行う、デスクネットのソフトの部分で

ございます。

次に、クライアント管理ソフト一式160万2,000円でございます。情報漏えいを防止するために、職員が使用するパソコンを管理して、ファイルの持ち出しや、不正ソフトの検知、外部媒体の接続を規制することができるものとなっております。

次に、ファイアーウォールでございますが、一式102万6,000円。インターネットからの攻撃や、不正アクセスなど、ハッカー等の対応をするものでございます。

次に、LAN機器でございますけれども、一式92万4,000円。

それから、無線装置一式99万1,000円。

それから、LAN配線部材、LANケーブル布設の関係部材ですけれども、一式18万8,000円。

それから、機器設定・設計費等で、データ移行費やそれぞれの機器設置の設計費、それから、試験・調整、産廃費用、諸経費を含めて一式651万円でございます。

この部分で、小計が1,207万5,000円となっております。

業務用パソコンを含めた全体では、2,288万6,000円でございます。さきほど申しましたように、その下のほうに前回提示額との比較がございすけれども、前回提示額2,467万5,000円に対し、今回2,288万6,000円となっております。税込額で178万9,000円の減額となっております。

(3) 備荒資金組合の譲渡事業による償還計画の比較でございます。

全体の事業費が少なくなったことによりまして、備荒資金組合の償還計画についても全体で、前回の償還計画では、2,540万6,000円でしたが、今回の精査後の償還計画では、2,356万3,000円と184万3,000円となっております。178万9,000円の減額となっておりますけれども、さらに5万4,000円多くなっております。事業費が小さくなっていることの利息軽

減部分でございます。

以上で説明を終わりますので、よろしくご審議のほどお願いいたします。

○**委員長（平野隆雄）** 内容の説明が終わりましたので、質疑を行います。

滝川委員。

○**委員（滝川明子）** パソコンの共有の問題ですが、検討していただいて3台を少なくしたということで、経費よりも業務の効率性を優先するという意見でした。業務の効率性は、1台1台のパソコンについて、どの程度の稼働率というか、共有は効率性が悪いということになるのか。その意見のまとめだけではなくて、実際には調査といったことはなされたのでしょうか。

○**委員長（平野隆雄）** 土門企画グループ参事。

○**企画グループ参事（土門修一）** 実際に、その使用頻度、使用時間等を調査するといったことはいたしておりません。ただ、検討する際には、各グループから職員に出てきていただいて、その状況等を聞き取りしています。

それで、実際に台数を減らせば経費全体が下がるということは当然ですけれども、外勤の多い職場もあるので、外勤するにしても同じ係同士、主査と係と一緒に外勤するなど、同じグループの中で一斉の作業があれば一斉に全員が出ていくのですが、帰ってきて事後のたまっている事務ですとか、あるいはそれぞれの事務処理等が必要な仕事に際して業務を行うといった場合には、職員が一斉に机に向かいます。

パソコン自体は、昔の筆記用具の紙と鉛筆に相当するものですので無ければ仕事ができないといった状況にありますので、できるだけ費用がどうかということよりも職員が仕事をすること重視していただきたいといった意見があまりました。

ただ、それにしても一定の共有ができる部分は、何台かをそういった共有化を進めるといったことでございます。

○**委員長（平野隆雄）** 滝川委員。

○**委員（滝川明子）** 昔の紙と鉛筆と同じような

位、事務を執るうえで欠かせられないアイテムというか、道具だと思えます。そろばんの時代のことを考えますと、自分が使うものはそれぞれが持ってきていたと思います。これだけの台数、しかも耐用年数のそう長いものでもありませんので、そういったことというセキュリティをどうするのかということと合わせて、自分のものを自分が職場で使うというふうにするのが、いちばん効率のあることだと考えて仕方ないわけです。

それから、セキュリティをいいますと、公僕としての初歩的な精神だと思えます。個人情報保護保護ということなどです。それが基本的に徹底していれば、デスクトップでなければならぬとか、あるいは公のものとして高額な経費をかけて、すべてを町が公費にしなければならないとかということについては、ならないのではないかと考えて仕方ないのです。

それで、共有があまりにも少ないのではないかと、もっと共有できる部分はないのでしょうか。保育所、幼稚園、それから支所、ここにいる職員は効率性を考えても共有できるということですが、そのほかのグループとここの違いが明確に、私はわからないのですが、そういうことを含めて教えていただきたいと思います。

○**委員長（平野隆雄）** 土門企画グループ参事。

○**企画グループ参事（土門修一）** 共有を進めることについて、高額なものを公費で何台も負担しているということですが、さまざまところで、情報漏えいのニュースを聞くたび、自衛隊や学校、いろいろな事業所、民間会社でもそうですが、個人のパソコンから情報漏えいするといったケースが多いのです。そういったことで、各事業所では1人1台を一般的なこととして捉えられているのかなと私は考えています。

そういった中でも、役場に出入りしている民間の会社の方から伺ったのですけれども、パソコン1人1台を当然として、故障したとしても買い替えるか直すかは、一定の金額を目安に、耐用年数の長い高額なものという捉え方から必需品であるという捉え方をされていて、一定の金額の修繕費が

かかるようになれば、それを止めて新しいものを買ったほうがより効率的だということになっているところもあります。

そういったことと合わせて、一方でセキュリティの部分では、自分の物を持ってくるとはいつでも、家庭に帰って家族で使うとか、また子どもさんが学校で習ってパソコンを使うとか、いろいろなことで使うことがあると思います。そういったことを考えると、セキュリティの面で、個人的に使う部分では問題がない部分でも、公共機関での仕事の部分で使う際に、はたしてどうなのかなと思います。そういった観点から、できるだけ個人のパソコンを使うということは避けていきたいと考えてございます。

それから、共有することがさらにほかの部署等でもできないかということと、保育所や吉岡支所で共有化ができる部分はこういった違いがあるのかということですが、保育所であれば朝に一斉に保育時間が始まります。

それで、主任保育士等が一般的な支出事務すとか、保護者との連絡文書の事務的な部分に携わるとしますので、そういった部分でとりあえずは使えればいいということです。閉庁時近くに終わって事務等があるのですけれども、そういった中で急ぐものから順にシェアしていくという考え方で、台数を減らしております。

ただ、そういった中で仕事として残れば、別な記録媒体にそれを用意して、空いている時間に使うという工夫もしていただくということです。

それと、支所においても実際に窓口にお客さんが来ているあいだは、基幹端末で証明やいろいろな業務をするものですから、窓口を担当するものが業務をしている時間は、1台は空くということですから、1台分は共有してもいいのではということで、1台減らしております。

ただ、実際に庁舎内の職員でそれができるのかということに関しては、一般的な事務用品を公平に与えないということと同じようなことになるので、その辺は困難かと思えます。

○委員長（平野隆雄） 滝川委員。

○委員（滝川明子） 今回の事業費の中でもパソコンの台数が多くて、大きな額を占めているわけですし、やはり事務用品を公平に与えないということにはならないという言葉じりを捉えるわけではないのですが、年間の窓口対応とか、実際に事務の現場から離れている現場的な仕事をしている保育士さんの仕事とか、そういったことの中でイメージしますと、まだまだほかのグループでも減らすことができるのではないのかと思えて仕方がないのです。

それで、頻度や時間的な問題、仕事の内容等も含めて、シビアに調査したわけではないということの中で、事務用品を公平にという考え方が基本になっているとすれば、かなり無駄な経費あるのではと思います。でも、これ以上は調べているわけでもないですし、お答えにできないとすれば、指摘にとどめたいと思います。

○委員長（平野隆雄） 土門企画グループ参事。

○企画グループ参事（土門修一） ただいま説明したほかに、税務課では税の算定や窓口業務等がありますので、基幹端末を使ってお客さんとのやりとりをするとか、税務関係上の基礎資料を作成、基礎データを集めるといったことは、今回のパソコンではなくで、各課に設置されている基幹端末を使うといったことで、税務課では職員6人に対して、2台程度しか配置はされておられませんので、その辺もご承知願いたいと思います。

○委員長（平野隆雄） ほかに。

佐藤委員。

○委員（佐藤卓也） 資料の1ページで、1月30日にIT推進本部会議を開催したとあるのですけれども、役場職員の関係者だけだったのでしょうか、それとも業者や専門の方が来られたのか、その辺をお聞きしたいと思います。

それと、以前は見積もりが2社からとっているとあるのですけれども、その2社の見積もりはほとんど同じだったのか。その辺は、まだ疑問に思いまして、お尋ねしたいと思います。

それから、2ページですが、業務用パソコンの内容で、デスクトップ型があるのですけれども、

メーカー、そういったものは指定してこの単価になったのでしょうか。もし、メーカーがわかるのであれば教えていただきたいと思います。できれば、そのパソコンとディスプレイ、それから、サーバーのメーカー名がわかれば教えていただきたいと思います。

あと、サーバー関係ですけれども、結構な予算をとっているのではないかと思います。ファイルサーバー、グループウェアサーバー、メール&ドメインサーバー、情報サーバー、L GWAN接続機能サーバー、そういうふうに言われても、実は私も詳しくわからなくて、何でこれが六十何万円、九十万円なのだと、中身を見せろよと言いたいぐらいですけれども、コンピュータはそれに答えてくれないのですが、インターネットで値段だけは調べてみました。

そしたら、定価としてそれぐらいであるとのことなので、おそらくこれよりは、安いのではないのかと。ですから、見積もりの段階で結構高めに出示しているのではないかと推測するわけです。見積もりの段階で、もう少し安く出せれば、入札の際にもっと安くなるのではないかと思います。

それで、前回OSはウィンドウズXPでもいいのではと言ったのですけれども、時代の流れとしてウィンドウズビスタがやはり主流になっています。主流と言っても、また近いうちにウィンドウズに新しいOSが発売されるということで、もしかしたらOSも安くできるのではと思うのです。

ですから、今パソコンはすごく売れなくて、これを見ていただきたいのですが、国内メーカーですが5万8,000円になっています。ウィンドウズはビスタになっていますし、仕様もこの事業費で出ているような仕様なのです。

それで、さらにこれは1台で5万8,000円です。今回40台も入れると、学校のほうもそうですけれども、もっと安くなるはずなのです。何とかならないのかと素人ながらも思っています。ですから、そういった疑念というか、そういったものを払拭するような答弁、回答をいただきたいと思います。

あと、役場は、そのコンピュータ関係をよく知っている人とか、そういった人材の育成、もしくは採用を考えるべきではと思います。道南のある町では、職員がそういうパソコンに通というか、SEC並みの知識がありまして、パソコン関係は全て福島町の半分くらいで仕上げています。

ですから、人材が1人いればその安くなっていくのではないのかなと、パソコン関係はまた5年くらいしたらまた古くなったから、また2千万円、3千万円と、学校を入れたら、4千万円、5千万円となってしまいます。こういったお金は、財政が厳しいといつも町長が言っていますので、そういった面でも節約できるのかと思いますので、人材育成の検討をしていただきたいと思います。

あと、最後に役場だけではなくて町全体の地域の情報化、高速回線とか、そういったものの計画を考えるべきだと思います。今、光というものを総務省で推し進めているようですが、そういった情報はきているのかどうか。ちょっと長くなりましたけれども、お答えいただきたいと思います。
○委員長(平野隆雄) 土門企画グループ参事。
○企画グループ参事(土門修一) もしかしたら、途中で抜ける場面があるかもしれませんが、よろしくお願いします。

まず、IT推進本部会議の構成でございますけれども、実際には、業者さん、外部はまったく入っておりません。各グループからの職員だけの構成で検討してございます。

それから、2社の見積もりとしていたけれどもというお話ですが、その2社との価格の比較等の部分でございますけれども、今回は2社に照会はしましたが1社しかきていませんので、1社の見積もりを示させていただいているところです。

それから、デスクトップ型のコンピュータとしていることについて、その型式やメーカー等を指定しているのかというご質問でしたけれども、メーカーに関しては、前回も申しましたように、ヒューレットパッカー社のもので考えているといったことです。ただ、型式まではちょっとわかり

ません。サーバーについては、細かい型式やメーカーは、特にわかりません。

それで、一応、当町の100人以内程度のLANの中で使える部分での仕様を設定していただいているところです。実際に、サーバーがいろいろな面で高額となっている部分、インターネットでも今回示している金額のような形が一般的というようにお話でしたけれども、サーバーは実際に見ることがないのですけれども、ただパソコンについてさきほど資料を示して1台5万円ということですが、役場のほうにも安いパソコンのチラシがFAXできたりしますが、安いパソコンについては、台数が5台限りとか非常に少ない紹介となっています。今回みたいに台数が多くなる場合に、はたして手配できるのかという部分は私たちにはわかりませんが、そういった業者でも困難性があるのかなという気がいたします。

それから、基本ソフトのOSがXPでもいいのではということでしたが、今回うちのほうで使っている中では、XPの台数もまだかなり残っていくといったことで、古いものから更新していくという計画でございます。XP、それからビスタのソフトも今回それぞれ残っていきませんが、古いものから順次更新していかなければ、今回メーカーサポートが切れるといったことがありますけれども、だんだん期間が詰まってくるのかなと捉えております。

それから、人材育成の関係ですけれども、よその町村でシステムエンジニア並みの技術者がいるということですが、一般的に考えればかなり高額になるのかなと漠然とはしますけれども、うちの場合は、現在、町の職員が一定程度のパソコンの裏を開けて、中の状態を確認し掃除をして、使えるように補修するといったことまではしてございます。

ただ、XP以上のモデルを搭載したものは、前回も申しあげましたけれども、なかなか職員では対応できないという現状にありますので、そういったことが可能なのかも、そこら辺は実際に他町の例も調べてみたいと思います。

あと、高速回線の導入でございますけれども、函館市内、あるいはその近郊であれば光回線等がだんだん普及して、一般化してくると思います。それと、インターネットだけではなくて、放送みたいな部分を担う部分にもなっているといったことで、本当は当町もそういった部分が整備できればいいのですが、まだまだそういった環境にあるところは少ないという状況です。近隣の松前町でも光回線の試験をされているといったことを聞いていますので、当町の導入がどうなるのか、その辺も検討してみたいと思います。

○委員長（平野隆雄） 佐藤委員。

○委員（佐藤卓也） パソコンが安いのは、台数が少ないからというのですけれども、法人担当という部署がどこのメーカーにもあります。個人のユーザーではなくて。そういったところに問い合わせすれば、法人ですので、50台、100台といった形で対応してくれるというのはホームページで調べて、調査済みですので、これは検討するに値すると思います。

それから、人材のほうは他の町でSECさん並みの職員がいるといったのですが、高額といった答えがあったのですが、普通の役場の職員ですので、別に皆さんと同じ給料をもらっていると思います。研修といった形でもいいですし、出向という形でもいいと思いますので、そういうふうにしてどんどん人を育てていければ、いずれ福島町のためになるのではないのかなと思います。今、若い人がこういった知識を持っている方が多いです。例えば、函館の高専ですとか、未来大学であるとか、そういったプロを目指すような若い人がたくさんいますので、そういった人の採用もいいのではないかなと思います。給料も若いということで、町の財政の負担にはならないのではないかと思います。

あとは、高速回線の構想ですけれども、総務省のほうでは去年もデジタルデバイドの解消といったことで、整備・推進の構想といったものに交付金を出しています。そういったものに対して、福島町はどのように交渉しているのか、情報を得よ

うとしているのか。その辺が私個人からもあまり見えないような状態で、こういった交付金をもらうためには、役場が率先して陳情といった形になるのかどうかわかりませんが、情報収集をしなければならぬのかと思います。だまっけていても交付金をくれるわけではございませんので、その辺は何らかの形で総務課を中心として、意見をまとめて検討していただければと思います。

○委員長（平野隆雄） 暫時休憩いたします。

（休憩 午後 1時50分）

（再開 午後 2時05分）

○委員長（平野隆雄） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

土門企画グループ参事。

○企画グループ参事（土門修一） さきほどの質問の中で、法人向けの対応する安いものがあるのではないかとありますが、今回の見積もりの中でも前回から比べて値段も下がっていますし、今のオフィス2007というソフトを含んだ値段ですので、そういったソフトを除けば一定程度の安い値段になっていると考えますので、さらに検討してみたいと思います。

それから、システムエンジニア並みの人材をとということですが、そのことについては人事担当、あるいは町長等とも相談しながら、進めてまいりたいと思っております。

それから、高速回線の部分で、デジタルデバイドの解消の部分ですが、光回線等については北斗市まで、現在きているということでございます。そういったことの要請を含めて、他町の例も参考にしながら進めていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○委員長（平野隆雄） 暫時休憩いたします。

（休憩 午後 2時06分）

（再開 午後 2時09分）

○委員長（平野隆雄） 休憩前に引き続き、会議

を再開いたします。

佐藤委員。

○委員（佐藤卓也） さきほどのホームページで検索したパソコンの価格について、説明いたします。私が見たのは、富士通の直販ということで、特別価格でご提供ということを一応お断りしておきます。今回に限り5万8,800円からということです。

それで、仕様については、役場のほうからの見積もりとほぼ同じでOSは、ウィンドウズビスタビジネスです。ソフトですけれども、オフィスプロフェッショナル2007は、別でして通常ですと税込み3万8,800円ですが、今回に限り2万8,800円ということです。3月22日までのキャンペーン期間ということを見ました。

そのほかに、ノートパソコンも5万1,800円からということがキャンペーンということで、出ていましたので、一応参考までということでお伝えしておきたいと思います。

それで、私のほうから質問ですがさきほどのメーカーを教えてくださいたいと思います。メーカーがわからぬのにこの数字が出てくるのは疑問であります。このメーカーだからこの値段だとか、そういったものがおそろくわかっていると思うのですけれども、その辺をお願いしたいと思います。

それと、入札関係ですけれども、これは僕まったくわからないのですが、こういった方がこういった形で入札してくるのか。もしかしたら、憶測ですが、今回見積もりをとった会社1社だけなのでしょう。その辺も補足説明をお願いしたいと思います。

○委員長（平野隆雄） 土門企画グループ参事。

○企画グループ参事（土門修一） ただいまご質問のメーカー名ですけれども、サーバー関係のメーカー名が見積もりの中に示されていませんのでわかりません。パソコンに関しては、ヒューレットパカード社と伺っています。

ただ、佐藤委員から富士通のもので、ソフトを含めてもっと安いものがあるということですので、指名業者の入札説明会に際しては、話をしながら

より安いものでお願いしたい旨伝えていきたいと考えております。

それから、入札参加者でございますけれども、複数者に案内はしているのですが、今回1社しか見積もりをもらっていませんが、入札に際しては、入札選考委員会を開いたうえで複数者の業者選定を考えてございます。

○委員長（平野隆雄） 溝部委員。

○委員（溝部幸基） 何点かお聞きします。

まず、1ページの(1)後段に、「パソコンについては今後、段階的に更新を進める」ということですが、前回の委員会的时候には47台で、残り50台ということで、その分で平成18年に10台を交換している部分が入っているという話でした。この段階的に更新を進めるという計画をどういうふうに考えているのか。そういう計画があれば教えていただきたい。

それと、今回ソフトの関係で、パワーポイントの対応をするということですが、今は実態的にはパワーポイントで作業をするという状況はないと思うのです。以前に、議会で講演会等をやる段階で、トンネル記念館のシアター室で対応したときに、講師の先生が持ってきたパソコンを接続して開催しました。

それから、議員控え室で1回OHP含めて対応したということですが、このパワーポイントというソフトを使う目的をどう捉えて対応しているのか。こういう時代ですから、上部機関含めてパワーポイントの資料がくるので、受けるほうが対応できないという実態なのか。そうではなくて、例えば、住民説明とかいろいろな形の報告会等を含めてやる段階にきているので、資料を含めて今度は必要ということなのか。

それにしても、このソフトの部分はそれぞれにとられるのか。なかなかソフトも昔と違って1つ買うと、全部に使えるということはないと思いますから、たぶん台数によって変わってくるのだと思います。エクセル、ワードならだいたい誰もが使うと思うのですが、パワーポイントはどうなのかと、その辺の実態を捉えてやっているのかどう

なのか。

○委員長（平野隆雄） 暫時休憩いたします。

(休憩 午後 2時17分)

(再開 午後 2時17分)

○委員長（平野隆雄） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

溝部委員。

○委員（溝部幸基） すみません。今回の資料ではパワーポイントが入っていないということでしたか。そしたら、逆に今言ったような説明の中で私は、今の流れの中では、必要なものだと見ているのです。

特に、町民との対応含めて説明会等をやるなど、そういう部分になってきているのではないかと思います。最初に検討したのがそういうことだと思いますが、どうしてそういうようなことになるのかお伺いしたいと思います。

それと、精査後の見積もりの部分が出ていますが、パソコンの部分が15万円を12万4,000円で台数を3台減らすということですが、計算すると若干前回示した数値よりパソコン部分だけではちょっと178万9,000円にならないのですが、何もその説明がないので、どこかほかに変わっているところがあるのか。前回、この単価が示されてないのです。違ってないということの説明だとちょっとおかしいと思いますので、その辺をお聞かせ願いたいと思います。

それと、今回はビスタの対応ですよ。ビスタは、本当に新しいものでもないわけですし、確か情情的には今年の4月くらいに新しい機種が出るという情報もあると思いますが、新しい機種の対応というわけではないですよ。その確認をしておきます。新しい機種との比較をしたうえで、古い前の機種をとということ自体がどうなのか。そういう状況にあって、なおかつ値段がどうなのかということがあられるわけです。

普通は、何のものでも新発売になるとその前段では今の実際に使っているものは大幅に値段を下

げて処分するというのが普通の流れです。新機種と合わせて古い機種もいつまでも生産を続けるということではなくて、逆に古い機種については、年数が経過すると、アフターがいつまでよらないということが起きて今度は替えないとならないという話になるわけです。メーカーや見積もりをいただいたところからの説明がどういう説明になっているのか、聞かせていただきたいと思ひます。

それから、佐藤委員と重複するのですが、私も見積もりといえども、入札に向ける、新年度の予算を決める見積もりですから、入札に何も型式も状況もわからないで、ただ19インチの部分というだけで、サーバーはこれだけ書くとだいたいわかる。あとは、メーカーの違いだけだというものであればわからないわけではないのですが、通常であれば、これは見積もった部分のメーカーの型式を含めてやると、あとは入札に参加する業者もわかってくるのではないかと思うのです。サーバーは、これだけの仕様だけでわかると、これですべてがわかるというものなのか。私は、そうではないと思うので、その辺を説明していただきたいと思ひます。

それと、2社にお願いして1社しかこないということ自体が、さも入札そのものが決まっているのではないかという感じを受けてしょうがないのです。期間もそれなりにあるわけですし、この見積もりが初めてでもないです。まったく入札に参加しない方がそこまで作業的にやるということではないですよ。本当は、それが理想的なのかもしれないですけども、実態としてはそうではないと思ひます。その辺は、実際に見積もりはきちんととるのが基本だと思うのですが、その辺はどう考えているのか。

それと、土門参事から光ファイバーの関係で話が出ていましたが、気になることがありました。松前が試験的という話ですが、そこをもう少し詳しくわかるのであれば説明お願いします。福島を飛び越えて松前にということは、やるときは福島まで一緒ということなのか。江差からくるとなれば別ですが。あとは、開発の回線が入っている

からそういうものを利用するという事なのか。その部分では、町長も私どもも何年も前から陳情しているのですが、実現しないままこれまでに至っています。もう少し松前の試験の部分について、わかっている範囲で教えていただければと思ひます。

○委員長（平野隆雄） 前田企画グループ総括主査。

○企画グループ総括主査（前田勝広） 今後の段階的な導入計画でございますけれども、平成22年度に6台、23年度に20台、平成24年度に6台、平成25年度に8台の計40台という形でとりあえずは一巡するという形で計画してございます。

それと、パワーポイントの必要性ですけれども、溝部議長がおっしゃるとおり、今は各種メールでもパワーポイントの文章もきます。それで、私たち行政としても、今後、住民説明会を開催しまして、パワーポイントで作ったものでプレゼンできればなという思いで当初はパワーポイントのソフトを計画に入れました。しかし、事業費が高くつくという形で、その部分は削除させていただきました。

ただ、パワーポイント自体は、閲覧できるソフトがインターネットで無料公開されていますので、その部分は必要に応じて職員がダウンロードして、閲覧だけにはできる体制はとりたいと考えております。

それから、全体事業費の内訳でございますけれども、パソコンの部分はそこに記載のとおり増減でわかるのですけれども、パソコン以下のサーバー、ネットワーク機器、共通経費含めまして、その部分は前回お示しした金額より、全体として10万円安くなってございます。

それと、新しい機種の対応でございますけれども、現在、選定しているのはウィンドウズビスタでございますけれども、新しいOSの機種に関しては、見積り業者でもその辺の提案はなされておられません。

それで、実際のところ新しいOSを積んだ機種

が具体的にどのような形で、いつ発売になるのか、そのような形は明確に見えていません。

あと、そのOSに対応した実際のその他のソフトがどのような形になるか見えていませんので、私どもとしてはあくまでもウィンドウズビスタ、今安定しているOSでアプリケーションソフトを使って業務をこなしていきたいと考えております。

また、見積書の内訳でございますけれども、今のところ1社しか見積書はきていませんけれども、これから督促しまして、もう1社からも見積書ももらってこれからの設計書を作成していきたいと思っております。

それと、サーバーの仕様書に関しましては、ここに示しているような形よりも少し詳しいスペックを業者に示すことによって、正確な入札ができますので、細かいメーカーだとか、そのようなものはまったく必要ないと考えております。

それと、松前町の光回線の試験状況ですけれども、あれは1年半くらい前に開発で布設しました道路の光ファイバーを試験的に江良地区かどこかで出しまして、そこを公共施設に何点かつなげて、そこで光回線を利用したインターネットの実験をしたという形で、町と開発の共同の試験事業という内容でやってございます。

○委員長（平野隆雄） 竹下副町長。

○副町長（竹下泰弘） 前田総括から説明させましたけれども、さきほど溝部議長がおっしゃったように、3ページのマイナスが178万9000円で、さきほど土門参事が説明した業務用パソコンが、前は115万円で今度は12万4000円になります。

そうすると、この部分だけでは114万4000円が安くなるので、さきほど前田総括が説明した10万円というのではなくて、このファイルサーバーから諸経費までいきますと64万5000円が安くなったという計算になると思っておりますので、その辺でご理解いただきたいと思っております。

ただ、さきほど前田総括から説明しましたけれども、今いろんな部分でご指摘いただいた部分については、私どもとしても1社の見積もりを重視

するという話にはならないので、2社なり3社なりもらい、ある程度の仕様を作って入札に付す設計書を作ってまいりたいと思っております。

それで、今回お願いしている分は、予算上は備荒資金組合の譲渡事業に係る償還計画の比較とありますけれども、①の償還計画は17万5000円ということで予算は計上しております。数字を見ただけではアッパーが1回だけでも170万円落ちているわけですから、もう少し検討させてもらうとまだ落ちるかもしれません。予算上は、17万5000円という償還の計画額をあげておりますので、これがアッパーだと思っております。中身については、また検討させてもらって、なるべく経費の節減を図っていくような形で実行していきたいと思っております。

ただ、入札につきましては、備荒資金組合のほうから私どものほうに依頼をされたもので、うちが入札執行して、債権を確定して備荒資金組合に償還していくという形になりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

○委員長（平野隆雄） 溝部委員。

○委員（溝部幸基） 22年度から段階的にやって最終的には40台ということであると、今の部分では10台減らすということになります。前回の資料でいくと、97台のうち47台を取り替えると、それで50台だけ残りますということで内訳を聞かせてもらったのですが、10台を減らすということで間違いはないですか。

それで、前回から見ると今回購入が3台減ることになりますから、その確認と、できるだけ台数を減らすということ、さきほど土門参事は、必需品の利用状況だと、民間との比較をしても補修もある程度かかるようになったら取り替えたほうが良いということですが、民間と単純に比較をするということは私も悪いのかもしれないのですが、それは言っているのは全職員が1台ずつ持ちます。全職員が同じように出勤して最後までパソコンに向かっているということではないでしょう。業種、仕事の内容を見ながら、共有できるものはどうなのですかという話です。そういう

部分で工夫をして、税務課のように特殊なものであったらもちろんそうしなければならないでしょうし、逆に言ったら、今度はまったくノートパソコンも無くなるみたいな話も前の段階の話からみたらどうなのか。本当に仕事の言ったら利便性をもって持ち歩かなければならないという部分もあるなら、それはそれで残してもいいのではないですか。スパッと切り捨てて、全てがデスクトップみたいな話をするから、それでは前の検討はなんですかみたいな話になるわけです。

とりあえず、今の部分についてはこれでよしとしても、少なくとも次の22年度以降に向けての検討の中で再確認をしますけれども、例えば、産業課なら産業課の中で最低限のものを個々にはやりますけれども、その中で1台、2台は共有の形にしておくことによって、そこは空いているときは誰でも使えると思います。あるいは、他の課でもそういう形にすることによって、1課では別にしても2課でもって1台を共有できるものとした場合に減らす可能性がないのかどうか。

その辺ぐらひは、もっとシビアに、本当はさきほど休憩中に皆で話していたのですが、実際に今あるパソコンそのものの費用の状況というのはわからないのだろうか。それがわかるのであれば知りたいという話をした人もいたのです。

それで、能力的には、実際やってみると容量からいったら、本当に使っているようでも2割か3割くらいしか使っていないというのがあるのです。ただ、容量だけということではないわけで、違う要素もあるのも理解するのですけれども、そういった工夫も大変厳しい状況の中ですから、次の段階での検討をお願いしておきたいと思います。

それから、前田総括は10万円と言って、竹下副町長は63万円と言って、私はどっちも違うのではないかと思って聞いていました。それは単純に15万円から12万4,000円になって44台ではなく台数も3台減っているわけです。私の計算では、19万5,000円ではないかと思うのです。会議録で、前田総括の発言のあとに副町長が63万円と言ったら本当に63万円違っている

というのが残ったらおかしいと思いますので、それで確認をしたいと思います。63万円が正しいなら正しいと言ってくれれば、それで済みますが、もう1回確認をします。

それと、仕様の部分でできるだけメーカーも含めてというのは、私は入札に向けてもそうなのですが、もっと見積りをお願いする側がきちんとそれを把握していなければならないという話なのです。本当に実践の状況とどうなのか。佐藤委員がホームページで調べたらこうですよというのと同じように、そういうぐらひのことはインターネットを使ってできるわけです。

そのためにも、ある程度この内容ともっと詳しく知っておいて見積りをお願いするのと、全くわからない前のおり言われているからこれでいいなんていうのでは、相手に対するインパクトも全然違ってくるのだと思いますので、その辺はしっかりやっていただきたいと思います。

それと、ビスタの関係ですけれども、何か同じような答弁を前のときも聞いたような気がするのです。少なくとも情報としてそういうふうなものがあるわけですから、例えば、極端に言ったらこの4月以降にやった場合にどうなのだろうというぐらひの検討も対象にして、今のオフィスの関係も対応ができないならできないで本当にこれを半年、あるいは1年待つことによってどうなのだという検討だって、あっていいと思います。そのうえで、1年待たたってだめだと、それよりも今回やるほうがというものをきちんと自身もって説明できるぐらひの体制を事務方としては取るようなぐらひになっていかなければならないと思うのです。

光ファイバーの部分については、この部分だって本当はこういう議論をする前にある程度そういうものがはっきり出てれば対応の仕方も違ってくるのです。なかなかそうもできないでしょうが、町長を含めてその辺の情報はどうなっているのか、あれば教えていただきたいと思います。

○委員長（平野隆雄） 村田町長。

○町長（村田駿） 光ファイバーは、津軽海峡向

かえに回線も通っているわけでごさいます、実は2年程前に吉岡地区で福島地域から見ても立ち上がりがいぶ遅い、容量が少ないということで、その段階で光ファイバーということについても一度協議した経緯がございます。その時点では、福島町内ではそこまで今のインターネット等についての回線の利用等については、開発等において困難性があるということであったことも確かです。

いずれにしても、将来的には光ファイバーというものの対応ということについては、十分に検討していかなければならないというようなことであります。

それと、開建の部長も4月以降に来ることになっておりますし、事前にそのような問題を開建のほうにも投げかけながら、今後の計画等については私どもはもちろんですけれども、議員の皆さん方にも情報の共有ということで、ぜひそういう場は作りたいと思っております。

また、今回の事業費の資料は、正直言って私自身も今日の見積りにあたっての説明等については、もう少し精査すべきではないかと思われました。見積もりも全てのパソコンだけではなく、業者に全て任せるのではなくして、いろんな情報を得た中で見積もりを徴する段階で町職員として、そういうようなインターネットも含み、あるいはまたカタログも含み、一定の積算をした中で徴していかなければならないと思っております。

○委員長（平野隆雄） 竹下副町長。

○副町長（竹下泰弘） さきほどの金額の件ですけれども、私も勘違いしていたのですが、土門参事が説明した前の単価は端数が付くのです。15万円と言いましたけれども端数が付くのです。チェックしましたら、消費税を入れて10万5,000円がパソコン以外になるということでございますので、パソコンはこれだけの差が出てきます。

○委員長（平野隆雄） 前田企画グループ総括主査。

○企画グループ総括主査（前田勝広） 確認の意味でもう一度申し上げます。業務用パソコンの部分が前回示した金額より、税込みで168万4,

000円の減となっております。

それと、それ以外の部分で今副町長がおっしゃったとおり10万5000円です。内訳ですけれども、機器設定・設計費等とありますけれども、その部分では、税込みで10万5000円が減って、トータルで178万9000円の減ということになってございます。

○委員長（平野隆雄） 加藤委員。

○委員（加藤雅行） 今まで議論を聞いていまして、例えば1社しか応答してこないとか、そういう形の中でどうもすっきりしないということは、町長も答弁で述べられておりました。かつて、町内にノート型パソコンを入れたときにこういう議論をしたことがあるのです。

それで、結局そういう形の中で現在使われているものの40台か50台くらいノート型パソコンを入れました。その部分が、今故障が多いという話になっていると思うのですけれども、ということであれば、私としてはその当ても業者さんは1社か2社しかなかったのです。

そういう形の中でずっと動いてきて、また今回こういうふうな形で1社しかこない。佐藤委員の話も聞いていまして、全国から機会だけ選ぶのであればいくらでも安いものが手に入るということであれば、その当時は1社、2社という形になったのか今になってよくわからないのですが、今回の場合は、何かがあるから1社なのか。それとも部分発注で、それぞれの得意分野において部分発注したほうが安くなる可能性があるのかどうか。そういうことも視野に入れて、今回積算のことについてどうなのか。

それで、町長のお話でもそこら辺までは言っていないのです。担当する参事のほうとして、これからの中で部分発注なり何なりをする可能性もあるのかどうか。時間はもうすでないのです。業者さんだって、それなりに自分たちの仕事というものを考えて動きますので、なかなか面倒だというのはわかるのですけれども、可能性としてどうなのか、そこをお答えしてもらいたいと思いません。

○**委員長（平野隆雄）** 土門企画グループ参事。
○**企画グループ参事（土門修一）** 前回の委員会に引き続いて、そのあと業者さんに紹介して複数社から見積りをいただく予定でしたが、実際に見積りをいただけたのは1社だけであったということで、その辺の見積りしてこない業者の事情がどういった事情なのか、その辺はわかりませんが、確認してみたいと思います。

ただ、実際には今回資料の2ページから3ページにかけてお示ししております。それぞれ導入の内容の品名について、業務用パソコンはそれだけで、特に前回入っていることとのつながりが機器の調整設定等の業務と関わりがほとんどないものですから、そういった関係からパソコンの導入に関してはその部分を1つの入札事項をして発注したい。残りの部分は、従前からのLANの状態や配線、機器設定など、そういった部分の関係がございまして、ひとまとまりで発注したいと考えております。

ただ、業務用パソコンの導入部分に関しては、従前からの設定等の調整等を含みますので、そういった関係がかなり強く出てくる部分があると思います。そういった点で業者の強み、弱み、それぞれあり、増えている部分があるかと思っておりますので、そういった関係はあると思います。そのことが今回の見積りに際して影響したかどうかその辺はちょっとわかりませんが、入札に関しては2つに分けて発注する考えでおります。

○**委員長（平野隆雄）** 加藤委員。

○**委員（加藤雅行）** 何点か気になる答弁があるのでありますが、前にノートパソコンを売ったところのつながりがもうすでに今はないという発言で捉えていいのですか。もうすでになくなっているという感じはあるのですか。ということは、売りっぱなしみたいな形と捉えていいのですか。いろいろ問題点があると思うのです。

特に、ハードの問題で故障した場合というふうなソフトだけではないですね。そういうふうな問題に関して言えば、非常に大きな問題ではないかと思うのです。私の質問の中で、メーカーサイ

ドの問題、私が言っているのはアフターケアの問題なのです。結局は、ノートパソコンの欠点の1つとしてコンパクトに作っている以上、どうしても熱の放出の問題だとか、そういうふうなもの、あるいはノートパソコンのオフィスで使うときの問題点、そういうものをきちんとフォローしているのか、していないのかという問題を私は聞いているのです。今までは、どうやってきたのかということなのです。そこら辺をお答えしてもらいたいし、その人たちが今後の中でどういうふうな町との関わり合いをこれからもするつもりなのかどうなのか。

それで、1社というのがどうしてなのかということになるはずなのです。少なくとも、私はそれならそれのように、部分発注して業務用パソコンならパソコンだけを発注すればいいのです。前もそういうやり方をしているのです。

そして、無線LANは無線LANで別にやっているのです。それは役場庁舎からしているのです。それ以外のLGWANもおそらく違うような業者がやっているでしょうが、そういうものを捉えた中での入札をするのか、しないのか。そういうものも全部含めたうえで、1社しか対応しなかったのかという質問ですけれども、そこら辺も含めてお答えしてもらいたいと思います。

○**委員長（平野隆雄）** 土門企画グループ参事。

○**企画グループ参事（土門修一）** 今回パソコンを更新するにあたって、全体として確かにソフト自体が古いといったことと合わせて、メーカーのソフトに対するサポートも切れてきている。古いものから13年当時に入ったものは7年経過しようとしている部分がございますので、そういったことからパソコンを取り替えるわけです。現在、ノート型を使っているわけですが、そのノート型自体が一定の年限を経ることによってだんだんつながりが悪くなったり、故障対応が多く出ているということもあまして、検討した結果、デスクトップ型にしようとする案が出てきております。

それから、全体的にXPのソフトだとか、まだまだ40台取り替える部分がありますが、無線L

LANでつながっていますので、そういったことの継続性も求められるかなと考えます。

それで、今回ご説明したように業務用パソコン単体での導入部分に関しては、それはその部分1つで入札したいと、あとそれ以外にLANケーブルだとか、実際の各設定・調整が必要な部分については、設定した業者を含む形で入札対応が必要ではないかなと考えてございます。

○委員長（平野隆雄） 加藤委員。

○委員（加藤雅行） 最初とは、だいぶ違うような感じがするのです。時間もなくなっていますから、ぜひさきほどから佐藤委員が最初にした質問がそういうことにつながるのではないのかなと。極端なことを言えば、こういうふうな細かいところのメーカー名を含めても、将来、町側のほうでもそういう技術者のなものを単なる事務職員ではなくて、技術者として採用するような人たちの枠というのが必要なのか。そういう問題が当然出てくるのではないのでしょうか。これは、私が質問した問題ではないので、そこら辺にしておきたいと思えます。

○委員長（平野隆雄） 木村委員外議員。

○議員（木村隆） 1点だけ質問します。議員が庁舎内でパソコンを使用できるような環境がありません。それで、議会運営委員会で議員もパソコンを使用できるように、会議中でも調べたいことなどをすぐ取り出せるように、議員控え室で使用できるような環境ということで、再三、事務局に要望しているのですけれども、議員が使用できるパソコンが今回の44台の中に入っているのかどうか。各グループの職員が、IT推進本部会議に参加しているということで、そういう話がなかったのかどうか。

○委員長（平野隆雄） 土門企画グループ参事。

○企画グループ参事（土門修一） 今回、議会のほうに現在設置させていただいているパソコンについても、ここ2、3年のうちに整備した1台でございませぬ。それで、実際にIT推進委員会の中で、議員のパソコンの話もまだまだ求められる部分があるという話は伺っていますけれども、今回

の対応の中には、その1台というのは含まれてございません。

それで、実際に布設する際に、町内LAN等を接続することに関しては、基幹業務とかの関係もあつたりしますので、インターネットを見るだけの設定になると思いますけれども、今後の更新の中でその辺を含めていくのかどうか、検討していくことになると思います。

○委員長（平野隆雄） ほかに。

（「なし」という声あり）

○委員長（平野隆雄） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

以上で、調査事件2の質疑を終了いたします。

説明員の方は退席をお願いします。

ご苦労様でした。

○委員長（平野隆雄） 暫時休憩いたします。

（休憩 午後 2時57分）

（再開 午後 3時10分）

○委員長（平野隆雄） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

これより、調査事件3に入りますが、あらかじめ調査内容について、簡単にご説明申し上げます。

町内の教育用コンピュータは、平成4、5年度において各中学校が整備され、その後、平成12年度に中学校、翌年度には各小学校が整備されております。

現在使用しているコンピュータは、基本ソフトが古いことによる不具合や経年による故障が生じていることと、加えて近年、総合学習等によるプレゼンテーションソフトの対応も迫られているとこのことであります。

このような状況から、平成21年度事業として、福島・吉岡中学校のコンピュータ・サーバーの更新と校内LANなどの整備を予定していることから、本日は、これらの整備に伴う資料も示されておりますので、その内容を調査し、所管事務の一端にいたしたいと思えますので、よろしく願いいたします。

それでは、調査事件3、教育コンピュータ整備事業についてを議題といたします。

内容の説明を求めます。

木村教育次長。

○**教育次長（木村修）** 1. 教育用コンピュータの整備事業について。

現在、町内の各学校に配置している教育用コンピュータについては、学習指導要領の一次整備方針に基づき、児童・生徒がパソコン機器の操作に習熟しながら学習活動等における活用が図られるよう、国の補助事業によって、平成4年度に福島中学校、平成5年度には吉岡中学校と千軒中学校にそれぞれ整備されたところです。

その後、情報通信ネットワークの高度化などに対応し、情報活用能力や情報モラルの育成をはじめとした情報教育の一層の推進が図られるよう、国の整備方針に基づく地方交付税措置により、平成12年度に福島中学校と吉岡中学校、平成13年度には福島小学校、吉岡小学校、白符小学校、千軒小学校への教育用コンピュータの増設等の整備がなされております。

2. 教育用コンピュータの整備更新について。

町内中学校において、授業等を中心に活用されてきているパソコン（ウィンドウズ95型式）につきましては、その型式や耐用年数等によってパソコン本体・周辺機器も含めて、昨今は特に不具合や故障が生じてきている状況にあります。

こうした中、近年のパソコン普及はより大きな広がりを見せており、町内中学校におけるパソコン活用の状況は、総合学習におけるインターネット活用技術の習得をはじめ、学校祭や生徒集会などではパワーポイントを活用するなどの利用展開が図られております。

そうした状況を踏まえ、総合開発計画へ掲載している平成21年度事業として、福島中学校と吉岡中学校にパソコン、サーバー等の更新と校内LANの設置などを含む教育用コンピュータ整備を事業費1,822万3,000円以内（平成21年度から平成25年度までの支払総額）で実施しようとするものです。

また、各中学校への設置台数については、今後の中学校統合に伴う生徒数を勘案することと併せ、吉岡中学校は、吉岡小学校の移転も考慮したうえで設定配置の予定をしております。

なお、本事業は、北海道備荒資金組合の防災資機材譲渡事業の対象となることから、備荒資金組合において当該パソコン、サーバー等を購入し、町が譲渡を受ける形で、購入代金を5年で償還するものです。

なお、参考資料として当初計画と見直し精査後の購入価格参考表や整備内容について添付しております。

簡単ですが、以上で説明を終わりますので、よろしくご審議のほどお願いいたします。

○**委員長（平野隆雄）** 内容の説明が終わりましたので、質疑を行います。

加藤委員。

【以下の加藤委員、佐藤（卓也）委員の発言及び答弁に付いては、録音不具合につき要点のみ筆記しました。】

○**委員（加藤雅行）** 入札において安く上げるためには、部分発注の可能性も検討すべきではないか。できるだけ安価にするということの考えで、企画で購入するものと合算してやることも検討すべきではないのか。そのような考え方がないのか伺いたい。

○**委員長（平野隆雄）** 木村教育次長。

○**教育次長（木村修）** 入札の方法も含めて可能性については、今後検討していきたいと思っております。

○**委員長（平野隆雄）** 丁子谷教育長。

○**教育長（丁子谷雅男）** 次長のほうで答弁しましたが、整備については夏休み期間中に整備するので、検討する時間があるので調整を図ってまいります。

○**委員長（平野隆雄）** ほかに。

佐藤委員。

○**委員（佐藤卓也）** スペックが役場と同じ、中学生も同じになっているが、その理由について学校と役場の関連性についてはどうなっているのか。システムのつながりと構成はどうなっているのか。

先生のパソコンは私物を使っているのか。セキュリティ対策はどうするのか。当初は、補助があったのではないかその対応について伺います。

○委員長（平野隆雄） 木村教育次長。

○教育次長（木村修） 業者からもらった見積もりとしては役場と同じ仕様でもらっています。学校と役場との配線については、現段階では考えておりません。先生について、全員にとということには予算の関係上無理がありますので、従来どおりの対応となりますが、セキュリティ対策については指針を定めて守っていくこととなります。

○委員長（平野隆雄） 佐藤委員。

○委員（佐藤卓也） どういう授業をして、どういう要望が生徒からあるのか、教育委員会としてどの様に把握しているのか。業者の提示価格を丸呑みにしているのでは。本当に必要なものの対応となっているのか疑問がある。授業支援ソフトの必要な理由が何なのかよくわからないので伺います。

○委員長（平野隆雄） 丁子谷教育長。

○教育長（丁子谷雅男） 各学校での使用の内容については、全部が全部を把握しているわけではありませんが、その状況については担当の先生に状況を聞いて把握しております。

それで、業者からは2社お願いしましたが、1社しかきていなのが現状であり、今後の入札においては指名業者の選考などに十分注して対応したいと思っています。授業支援ソフトについても担当の先生と協議した中で必要とのことであり、見積もりに入れておりますのでご理解をお願いします。

○委員（佐藤卓也） 近隣の入札状況を調査すべきであり、八雲町ではパソコン40台で、シーククライアント方式でこの半分で済んでいる。サーバーの中身がよくわからない。インターネットで調査して業者への指摘が必要ではないのか。研究すべだと思うが、それについて伺います。

○委員長（平野隆雄） 暫時休憩いたします。

(休憩 午後 3時55分)

(再開 午後 4時10分)

○委員長（平野隆雄） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

○委員長（平野隆雄） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

加藤委員が、用事があるということで4時に退席いたしました。

丁子谷教育長。

○教育長（丁子谷雅男） さきほどご質問のいろんな方式の部分、シーククライアント方式は申しわけありませんが、私もその部分については耳にしたのが初めてでございます。やっている学校、自治体もあるように聞いていますので、そこら辺が逆に我々の今の対応の中で、そういう方式が可能なものかどうかも含めて、これからの発注の段階までには検討していきたいと思えます。やれるという話はここではできませんけれども、その中も検討してみたいと思えます。

○委員長（平野隆雄） ほかに。

滝川委員。

○委員（滝川明子） この事業費の大きい部分はパソコンでして、このパソコンの単価が庁舎よりも機能が違って安いもの、パワーポイントは必要だから付けてほしいということで12万6,000円ですけれども、この単価が大変高いものだと思えてなりません。

それは、前段の庁舎のパソコン設置事業費のコンピュータ整備の同議の中でも出たわけですけれども、12万4,000円、12万6,000円の違いだけではなくて、例えば、ソフトを入れなければ5万8,000円くらいから数字が出ていたわけでした、教育関係の事業支援ソフトを抜かせば12万6,000円は高額すぎるのではないかと感じてなりません。

メーカーを指定しなくても単価の見込額は示すでしょうから、これ自体をもっとしっかりと機能を果たせる内容で安いものというのは、今の時代絶対あると思えますので、さきほどの佐藤委員が言っていたことと合わせてと思えます。

それから、町長、副町長もいますので、ぜひお

聞きしたいわけですが、セキュリティの問題で前段で庁舎の1人1台、しかもマイコンピュ-ータは持ち込まないということで説明を受けたのですが、教育現場とそうではない町長部局の仕事の違いは、セキュリティでどうなのでしょう。教育委員会ではセキュリティポリシーの指針などを出して守ってきたし、これからもそういったことをしたいということですよ。現場からの要望、要求については対応も考えているようですよ。いずれにしても町長、副町長が教育行政とそうではない行政との違いはないわけですから、責任を持っておられる部分でセキュリティ対応についていかがでしょうか。

○**委員長（平野隆雄）** 丁子谷教育長。

○**教育長（丁子谷雅男）** パソコンの高い、安い部分については、5万円代からというお話もございましたけれども、確かに本体だけを考えるとその部分で安価な部分も出ております。それにディスプレイが入り、増設メモリーが入り、ソフトが入りという形で今の設定をしているわけですが、当然定価があって、そして定価で出しているわけではなくて、いくらかでも下げられる部分を見越した中で設定してあるのがこの価格だということで、ひとつご理解をお願いしたいと思います。

それと、役場の職員にデスクトップ型とほとんど差がない、逆に2,000円くらい高いというお話ですが、確かに佐藤委員からさきほどお話があったように、いろんなメーカーのもので外国のものを含め、いろんな部分では安価なものも出てまいります。

ただ、基本的に今設定してあるのはそういう部分を含め、なおかつさきほどもお話しましたが、ビスタのビジネスクラスでも単価の部分で上下ございます。我々は何も高い部分で設定する形は考えておりませんが、少なくとも現時点で学校のパソコン教室に生徒が使うために対応する主としてビスタのビジネスクラスをある程度入れる形によって、保守は通常5年がベースなので、それ以上使われることは間違いござ

いませんので、それである程度対応できる形で配置をしたい。パワーポイント1つとってもソフトの部分で相当な価格が出てまいります。その形も含めての設定でございますので、その点は何卒ご理解をお願いしたいと思います。

○**委員長（平野隆雄）** 村田町長。

○**町長（村田駿）** 文科省から教育現場にセキュリティの関係で来ているということで、さきほど教育次長のご答弁の中ございました。一方では、個人のノートパソコンを使用している中で、例えば車に入れておいて盗難にあったとか、そういうようなことも若干佐藤委員のご質問の中でもありました。これは、町職員もデスク型にしたいというのは、そういうことでできる限り個人のパソコンは庁舎内に持ち込まない、持ち出さないという形の中での経緯も含んでデスクトップにしたいというように説明もさせていただきました。

ただ、いずれにしても、町職員であろうと学校の教員であろうと、個人情報の保護なりプライバシーについては機種がなんであろうと絶対守らなければならないこととございます。職員においてもそういうようなことについては認識していると思います。

また、今回の委員会の中でもセキュリティのことについてのご質問ありました。今回年度が変わって、この機種が購入されることになると思いますが、あらためて職員には文科省から教育現場に来ているセキュリティポリシーがどういう内容になっているのかは私自身よく承知してございません。そういうようなことも参考にしながら職員にあらためてセキュリティに対する考え方を今一度周知して、対策を講じてまいりたいと思っております。

○**委員長（平野隆雄）** 滝川委員。

○**委員（滝川明子）** ずっと長く使えるものであればいいものという考え方もよくわかるのですが、5年を耐用年数の基準にしているということでは、事業に必要な機能をもっていれば安いほうがよろしいわけ。庁舎のパソコン単価に

については12万4,000円をさらに安いもので検討をしておっしゃっていましたので、そういった努力、検討がされてもよろしいのではないかと思いますがいかがですか。

それから、町長がおっしゃることの中で、紙と鉛筆と同じで事務の道具だということですが、職員に公平に道具は備えなければならないという考え方もおっしゃっていたわけですし、そういう意味では直接の町職員さんではないけれども、考え方が矛盾しているのではないかと思います。デスクトップで持ち出し禁止にしなければセキュリティが守れないという考え方では、教育委員会ですと今とっていることとは完全な矛盾があるのではないかと思います。

今は、コンピュータ整備事業費のことで議論をしているわけですから、セキュリティポリシーを公務員さんとしてきちんと守るということの中で努力をすれば、マイコンピュータでやればたくさん経費をかけなくても済むのではないかとということ、セキュリティを守ることと加えて強調しているのが私の質問です。そういった意味で矛盾は明らかですので、このあたりをどうお考えなさって対応なさるのかお聞きします。

○委員長（平野隆雄） 村田町長。

○町長（村田駿） 役場も職員が同じデスクトップ型なりが入ったとしても、例えば税務でやっている仕事が水産なり別なほうで課税状況がどうか見られる状態でもございませんし、また、例えば住宅料の管理だとか、そういうことについてよそのほうで開いて見ることができるのかとか、そういうことについてはできないわけです。

そういう面では、現課の中で対応している、そこでなければわからないことというのは課なりグループで対応しているわけですが、総体的に今回職員も年々減ってきていることも確かです。このことについてはご承知かと思えます。

また、国のほうの分権だ、権限移譲だという形の中で職員個々の仕事は間違いなく増えていることも確かです。そういう中でおお共通で利用できることについては、できうる限り2人で1台なり、

私自身はそういう気持ちは持っています。

ただ、それと今の学校現場のセキュリティ問題は、公務員として守らなければならないことであって、どちらかというとノートパソコンで個人のパソコンを持って出入りすることによって、どちらかというと今までの報道等を見ると車から盗まれて情報がどうのとか、そういうことであります。

ですから、私どもにすると個人の機器を使用した場合においては役場の情報なり仕事が個人のパソコンに入るわけでございます。個人のパソコン自体が本人個人よりも家庭に帰って開き、使わないものであれば私は個人が公務員である以上は公務員としてのプライバシーの保護だとか、個人情報保護があるわけでございます。

それで、実際そのうちによっては2台3台のパソコンではなく、1台のパソコンでやり取りしている家もあるのではないかと考えているものですから、できる限り仕事に対しての対応については極力今のデスクトップ型で庁舎外に持ち出すことのないような対応の中で職員には仕事をさせていただきたいというのがさきほど申し上げていることでもあります。今回の入れ替えについてもそういう考え方でございますので、まずその辺についてはご理解していただかなければならないと思っております。満足した回答になっているかどうかはわかりませんが、そういうことでご理解のほどお願い申し上げます。

○委員長（平野隆雄） 暫時休憩いたします。

（休憩 午後 4時24分）

（再開 午後 4時25分）

○委員長（平野隆雄） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

村田町長。

○町長（村田駿） それと、先生の職場というのは2年なり3年なりで先生方は異動することもございます。職員は、役場の中が町職員として基本的には定年まで勤務されていて、課の中の移動はあるでしょうけれども、そういう中において職場

での必要なことについては次の職員に引き継いだり、いろんな形でやっているのが現状でございます。

そういう中で、私自身が滝川委員さのご質問の中で受けているのは、職場は違うけれども公務員として、一方では個人のノートパソコンを使って、そして役場は同じ公務員だけれども全員にデスクトップをやることについての違いということのご質問かと思っておりました。そういうことで追加の形でご答弁させていただきましたけれども、町職員と学校の先生というのが同じ公務員ですけれども、職場が町外にどんどん変わっていく先生方と福島町の町職員の役場に残っている職員との関係では町民に対するプライバシーだとか、いろんなことについては違うのではないかというような思いはしてございます。

○委員長（平野隆雄） 暫時休憩いたします。

（休憩 午後 4時28分）

（再開 午後 4時31分）

○委員長（平野隆雄） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

村田町長。

○町長（村田駿） 今回の計画については、それなりにご理解はしていただきたいと思います。

ただ、今休憩中にもお話がありました。また前段で滝川委員さんからお話ありました。今当町では学校の統合ということも進んでいることも事実でございます。その先には小学校もどうなるのかというような思いはございます。今は、役場と教育用のコンピュータの整備でございますが、大きな町の課題として学校が統合して一定の方向性が見えた中では教師用のデスクトップについては十分に検討をさせていただきたいということでご理解のほどお願い申し上げます。

○委員長（平野隆雄） ほかに。

溝部委員。

○委員（溝部幸基） 11月5日にローリングの関係で初めて学校のコンピュータの話が出たので

すが、そのときの資料でいくと事務費が1,930万円なのです。21年度分については、備荒資金の利息分、当然1年据置きですから21年は利息だけだということですが、13万7,000円なのです。これが初めての数字だと思うのです。だから当初計画というのがこの数値が出てくるのではないかと思うのですが、11月5日の前に当初計画というのはあるのですか。今日見ると、この数値はちょっと違うのではないかと思うのです。

それと、その際に具体的にコンピュータがいくらでという数値がなかったものですから私が聞いたのです。木村次長が答えて、パソコンが17万円、プリンターが12万8,000円、ファイルサーバーが30万2,200円、インターネットサーバーが100万4,300円という数値が出てきているのですが、これを今回出てきたものと比べると数値があわない気がするのです。このときの数値が1,930万円の部分ではなくて、定価か何かで言ったのではないかと思うのですが、その辺をお願いします。

○委員長（平野隆雄） 木村教育次長。

○教育次長（木村修） 昨年11月のローリングの関係ですけれども、あのときは定価でお知らせしました。ここでの当初計画は、その後、きちんとした数字をあげて再度見直しをかけたということでございます。1,930万円については、当初の経過でお知らせしました。

○委員長（平野隆雄） 溝部委員。

○委員（溝部幸基） そんなに違っている数字ではないのです。細かい1,930万円の内訳を聞いたら、トータルは計算できないですから言った数値を全部書いているのです。例えば、プリンターもカラープリンタを複合機ということで分離したり、実際には違ってきているのですが、そこはにおいておいても当初の計画というのはこの数値ではないのですか。あくまでも開発計画で出したローリングの資料です。

そこからスタートして、今回特にこのときの利息の見方をこれまでは1.3パーセントが、この段階で今庁舎内のLANサーバーの部分は1パーセ

ントにしたのです。だから多分教育委員会の部分は1.3パーセントそのまま計算したのではないかと思うのです。その違いが13万7,000円と13万3,000円の違いになっているのではないかと思うので、それはおかしいですということをお願いしたいのです。ローリングはあくまでも記録で残っているのです。ローリングというのは前にあったものをローリングしてではなく、新規登録事業ですから、この数値があくまでも当初計画だと思うのです。このあと調整したというのはいくらでも調整してかまわないのですけれども、あくまでも当初計画というのはローリングで出した新規登録事業だと思うのです。だからこれはもう1回きちんと整理しないと開発計画の分と考え方が合わないということだけ指摘しておきます。

また、これは質問ではなくて、前にやった町の部分の対応と今の教育委員会の見積りに対する考え方がまずおかしい。入札に臨む姿勢もおかしい。同じようなものが、たまたま一緒に委員会にかかったから我々も気が付くだけけれども、離れているとまったくわかりません。あくまでもこれは部局が違うとかではなくて、入札に対する姿勢とか見積りを前段で問える部分というのは共通して同じような考え、その個々の違いはあると思うのです。学校の場合は学校何箇所かに分けるわけですから、その違いがあってもものぞむ考え方みたいなものはきちんと整理して対応しなければならないということがありますので、そこは気をつけていただきたいと思います。

それと、セキュリティポリシーの部分は、財政関係の部分の際も情報系と基幹系の部分の対応をして議論したときに町はもう作ってあります。町長のほうでは、教育委員会のそれを見て検討しなければならないという話ではないですね。基本的には、それがあろうがなかろうが職員が職員となるとときに宣誓をして誓った部分を含めて考えれば、私は当たり前の話だと思うのです。

だから、それも踏まえているわけですから、今町長は学校統合してからなんていう話をしていますけれども、そんな話ではなくて、実態として職

員の部分がそういう状況にあるのです。この部分と一緒に学年ごとに1台ずつ考えると、そこからスタートするか、教科ごとに考えるとかぐらいいは一緒に考えてやったほうがいいのではないかと思うのです。そうするとそれにあわせて職員室とLANで整理をするということもあると思うのです。

ですから、今日の審議を踏まえて、もっと検討してコストダウンさせるような工夫をしながら、そしてその分を教員の分、そしてもし全台吉中もこっちも大変だということであれば、統合問題がありますからとりあえずは福島中学校の部分について対応ということでもいいと思うのです。これは統合問題を考えるとまた大変だと思うのです。何年か後に統合するものが150万円もするようなソフトがどうだとか、そういう話もあるわけですから、その分も含めてもう1回検討していただきたいと思います。

当初予算は、これを出しているわけです。それであれば、なお節減の工夫をしながら予算の範囲の中で若干そういうものも配慮するくらいのこととしてやってもらいたいということを要望として言うておきます。

○委員長（平野隆雄） ほかに。

（「なし」という声あり）

○委員長（平野隆雄） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

以上で、調査事件3の質疑を終了いたします。

説明の皆様は退席願います。

ご苦労様でした。

暫時休憩いたします。

（休憩 午後 4時40分）

（再開 午後 4時48分）

○委員長（平野隆雄） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております調査事件2及び3に関する本委員会の意見の取りまとめ及びその

調整については委員長に一任願いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○**委員長(平野隆雄)** ご異議なしと認め、調査事件2及び3に関する意見の取りまとめ及びその調整は委員長に一任されました。

なお、意見書について平成21年第1回定例会後の閉会中の所管事務調査については、今後の総務教育常任委員会の中で決めていきたいと思いますがご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○**委員長(平野隆雄)** そのようにしたいと思います。

以上で、本日の案件の調査は終了いたしましたので、総務教育常任委員会を閉会いたします。

どうも、ご苦勞様でした。

(閉会 午後 4時50分)

福島町議会委員会条例第27条の規定により署名する。

総務教育常任委員会委員長